

理学療法かわら版

一般社団法人
山形県理学療法士会

目次	理事リレーコラム …………… 1	各部活動紹介 …………… 9
	平成 27 年度表彰者紹介と 会員へのメッセージ …………… 2	施設紹介 …………… 22
	未来を担うフレッシューズ紹介 …… 19	会員動向 …………… 23
		事務局より・編集後記 …………… 24



理事コラム

山形県理学療法士会 副会長（兼事務局長）
山形県立保健医療大学
赤塚 清矢

今年度より副会長兼事務局長を拝命いたしました赤塚清矢です。身にあまる重責ではございますが、職務を全うさせて頂く所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

今回は、私が担当している事務局について紹介させていただきます。事務局は、総務、庶務、財務から構成されております。総務では、文書管理・発送、公文書発行・報告書等管理、関連団体の協賛・後援依頼等への回答、理事会開催手続き事務、理事会運営事務・文書管理、総会開催手続き事務を行っております。庶務では、会員異動等の管理、賛助会員の登録管理、専用電話回線・FAX・ホームページ・電子メールの管理、慶弔に関する事務を行っております。当会のホームページには、研修会のご案内や当会の活動報告が行われておりますので、ご活用いただきたく存じます。また、ホームページの右上にお問い合わせフォームが設置されておりますので、手続き等でご不明な点がございましたら、お問い合わせ頂きたく存じます。財務では、会費徴収に関する事務、運営費管理を行っております。

事務手続きに必要な不可欠な日本理学療法士協会の包括的会員管理システムが導入され3年目となります。この包括的会員管理システムとは、会員情報、認定・専門理学療法士制度、生涯学習の履歴管理、研修会参加登録システムなどの情報について、一元管理を行っているものです。会員の皆様の入り口は、日本理学療法士協会ホー

ムページのマイページになっております。この包括的会員管理システムの導入により、以前の紙媒体での業務と比較し格段に改善がなされました。しかし、最近では地域包括ケアシステム構築に係る事務も増えており、自治体や関係団体への対応のために、当面は、事務局機能の強化が課題です。

ここで、会員の皆様にこの場をお借りして、お願いがございます。会員動向の正確な把握、通信経費節減のため所属施設をお持ちの会員の方は施設会員への登録をお願いいたします。特に入会時・異動時に自宅会員登録をされた後の変更が少なくなっております。また、職場異動時、自宅住所等の変更、所属先の変更は、日本理学療法士協会ホームページのマイページより手続きを行うことが可能です。また、会費納入をスムーズに実施するために、楽天カードを支払い手段として登録をお願いいたします。なお、お手持ちの楽天カードを登録することも可能です。楽天カードをお持ちでない場合は、マイページよりお申込み、支払設定をしていただきますと支払更新手続きも可能となっております。

今回は、事務局の紹介と皆様へのお願いをさせて頂きましたが、当会の円滑な運営のためには、会員の皆様のご協力が必要です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成 27 年度表彰者紹介と会員へのメッセージ

平成 27 年度に各表彰を受賞されました先生方とメッセージをご紹介します。なお、各表彰の詳細は当会ホームページに掲載していますのでご覧ください。

高橋 穂 先生 厚生労働大臣表彰 受賞 おめでとうございます！



(下段左より 5 人目が高橋先生)

この度、理学療法士協会50周年記念に合わせて行われた記念式典に於いて厚生労働大臣賞の表彰を諸先輩方、他府県の友人達と共に受賞いたしました。これもひとえに山形県士会員の御厚情がなければかなわないことであり、皆様には心より感謝いたしております。また、今回は全国から多くの先生方が申請された中で受賞した30数名中の一人という荣誉にあずかりましたことは、これまでの理学療法士としての自分を顧みますと過分なことであり、恐縮しているところとともこれまでご指導頂いた皆様に感謝しているところです。

わたしが45年ほど前に理学療法士を目指したきっかけは、はて何だったのだろうか？

思い返してみると、高校時代は大学紛争や安保闘争、果ては学内での紛争と、いたって騒々しい時代の中、山南理数科の一期生として大石田の片田舎から取りあえずは勉学に励むつもりで入学しました。しかし、さしたる成果も得られないまま卒業し、入試に向かっていくときに偶然にも県立リハビリテーションセンターを建設するに当たり、理学療法士養成校に受験しないかと市町村を通して紹介がありました。どちらかと言えば、生物が好きであったこともあり「渡りに船」的感覚で清瀬の片田舎に受験に行きました。今振り返ってみると、さしたる使命感もなく武蔵野の雑木林の中にある伝染病棟を利用した学生寮が気に入る、そこに取りあえずは落ち着きました。理学療法士など、まだまだ認知されておらず、同級生もPT、OT合わせて

40名足らず、各県から1人くらい、年齢も現役から大卒、社会経験あり、年上の人が多く、価値観も考え方も本当にさまざまであり、多くのことを体験し、学ぶことが出来ました。学生時代と言え、周囲におおいに迷惑をかけ、心配してもらいながら、少しずつ理学療法についての知識を得、自分なりの理学療法像と言いますか、そのきっかけを形作っていくことが出来たのかと思っています。学生時代は都心に心が向かず、山や湖の方に足が向いていました。尾瀬や谷川岳、南アルプスの北岳、狭山湖、奥多摩湖、秩父等、足を運びました。

なんとか落第もせず、冷や汗ものでしたが、無事国家試験にも合格し昭和50年に山形に帰ってきました。その後は37年間ずっとそのままです。

理学療法に対するの信念と言いますか、理学療法業務をしながらずっと自分の中心にあり続けたのは、なんとか自分の納得のいく治療がしたい……の一言です。自分の体を使い、手を使い、足を運び、学び、また次の体験をし、少しずつ、すこしずつ積み上げながら治療らしきものがしたい……と生きてきました。しかし、少しばかり向上はしたものの自分が望むような、納得のいくような治療にはほど遠く、自分が学習を積み重ねることが困難のように治療をしながら改善を図ることの困難さをずっと感じ、体感し続ける時間になりました。それは、当たり前ですが理学療法の奥深さ、ヒトの奥深さ、人体の奥深さ等、あまりにも奥深く、運動学習の

困難さが自分にも患者さんや後輩たち、さらには保健に携わる人たちにも伝えにくく身に付きにくい大変な「技」であるからにはほかならないと考えています。今も思いを共にする仲間たちと、一步一步、技を身につけるために励むことが出来ているのは、ヒトの動きや学習の困難さがあればこそであり、学び続けることの意義と言いますか、楽しさと言いますか……専門職としては誰しもが努力しなければいけないところではありますが、少しは変化している自分に喜びを感じつつ続けているからだと思っています。

現在とは言いますと、退職して少しのんびりしたいと考えていたところでしたが、訪問活動や予防活動、農業その他、もろもろに駆り出され、現役時代よりもさらに多忙を極めています。しかし、これまで培ったものや仲間がいることで理学療法士としてのさらなる高みを求めながら行動することが出来ているような気がしています。

また、自分の今後に求めることと言えばやはり、もっときちんと人の動きや生活を分析し、治療を組み立てるために学び、実践したい、その中身はまだまだ先にあることを忘れずに学習を継続したいという欲があります。自分の器の中では追い続けても切りはないと感じていますが、もう少し身につけられるものがあると思いつながら今後も理学療法の深淵を自分なりに求めていきたいと考えています。あともう一つ望むものがあるとすればたくさんの時間が欲しい。最後に皆様にお仲間として伝えたいことがあります。年寄りの小言だと思って読んでください。我々は何をするにも運動します。寝ること、考えること、息をすること、話すこと、歩くこと

はもちろん、全てが運動です。そこには個人独特のパターンが存在し、効率に関して言えばそれぞれに善し悪しがあります。私たちがお付き合いをしている障害を持つヒトたちは障害の特色により似たところがありますが、個別な問題を抱え、個別なパターンで運動し、課題を遂行していきます。この関係の中で理学療法がどうあるべきかをぜひ考えてください。課題遂行はできたかどうかですので見ればわかる部分が多いです。しかし、その人特有のパターンは触れたり、再現したり治療者が自分の体で実感することが必要だと思います。また、治療者が体感していることは、受療者がこれまでに環境に適応するがために実践してきた学習の結果ですので、変化を求めるには過去、現在、未来にわたっての分析、考察が必要であり、治療のための戦略が必要です。個人のもつ環境のなかで個々のシステムを十分に発揮できているかを理学療法の中で考え、援助していく必要があります。くどいようですが、私たちはすべてのことを運動で表現します。「痛い」と顔をゆがめることでさえ運動です。理学療法はそこに影響を及ぼすことが出来るあるいは及ぼしている稀な職業です。どんな職域でも奥は深く、際限のないことは同様であると思いますが、理学療法ではヒトを相手にしている、あるいはその根源である動きに向かい合っていることを常に意識する必要があると思います。参加や活動あるいは学習を支えるのは個別性を持った機能であることを常に中心に置くことが大切です。みなさん、まだまだこれからですよ、理学療法は奥が深い……。理学療法士が多くの方を付けて行くことを期待して筆をおきます。

駒沢 治夫 先生

日本理学療法士協会

感謝状 受賞

おめでとうございます！



(左より7人目が駒沢先生)

1. 受賞された感想を教えてください。
協会設立の準備段階より、協会本部の多くの

役職と第一回全国研修会を開催し、県士会に於いても会員相互の資質向上を目標として活動し

て来たことへの感謝状と考えています。

私としては総べての会員が職域の拡大や維持を図ろうと努力することは、会員として当然なことであると考えています。しかしながら多くの会員の前で受賞できたことは大変うれしく思っております。

2. 理学療法士を目指したきっかけをお聞かせください。

高校卒業後、就職難で自宅待機をしているとき学校長より呼び出しを受け、就職したところが山形県東根赤十字病院整形外科助手でした。仕事は医師の下で主としてマッサージを行いました。当時は先股脱とポリオが対象でした。内容は電気刺激とマッサージだけで歩行の改善やADLを含めたアドバイスができず、悶々としていました。その時期に「日常生活の基礎」と言う表題の訳本が手に入り、リハビリテーションを知り、何時かは障がい者を支えることが出来るようになりたいと願っていました。

3. 理学療法士としての信念を教えてください。

振り返って考えますと、自分の此れまでの足跡からノーマライゼーションへ向かって努力して来たことではないかと思えます。東大病院から山形へ来て、北村山地域リハビリ協会を立ち上げ、参加して年に数回、地域市町へ出向することで、退院後の再入院を如何に予防し、地域生活に身構えず普通に入り込めるようにすることを願っていました。

4. 理学療法士を続けてきて大変だったこと、また切り開いてきたこと何ですか。

清瀬リハビリ学院を卒業して、東大病院リハ科に就職しましたが各病棟へ患者治療に行くと、病棟看護師は病室の患者さんへ紹介する際、「按摩さんが来ました」と呼称していました。私は間髪をいれずに紹介者へ、「リハビリテーション科の理学療法士です」と説明をしてから、患者さんの治療を行いました。

5. 将来に向かって考えておられことは何ですか。

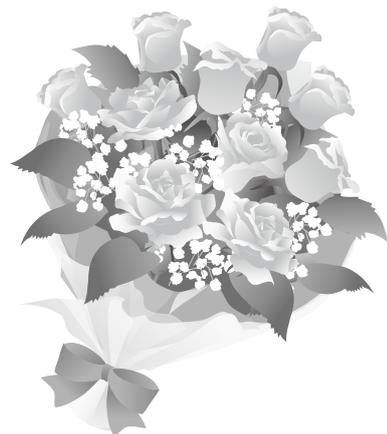
理学療法士養成教育は、現在の社会構造の変化に対応していないと考えられます。少子高齢化がもたらしている大きな問題は医療環境への影響だけでなく、社会経済、福祉行政にも波及しており、我々には生活しにくい世の中が造成

されつつあります。その中で理学療法士教育は、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に縛られている結果と思いますが、余りにも全国教育機関が掲げている教科内容が揃い過ぎています。もう少し社会のニーズに応えられる学部教育を目指し、医療の現場だけでなく福祉行政等への道へと拡大すべきであります。

6. 会員へのメッセージをお願いします。

求められている理学療法士像を考察してみますと、日本に産声を上げて五十年であります。我々の技術、方法も実践と研究を通じて、日々発展してきました。ともすると人間は最初に身についた技術を、捨て去ることが出来ず大事にしがちです。裏を返せば新しくなった現在を取り入れようと努力しないということです。その方が個人的には楽な生き方として選択したことに成るからです。

理学療法士に求められる能力は種々の社会的要素（含医科学）の変化と共に、尚且つそれを読み解き自分も変化できるように導いてゆくことが、皆さんに与えられた課題と言えると思います。



伊橋 光二 先生

日本理学療法士協会

協会賞 受賞

おめでとうございます！



1. 受賞された感想を教えてください。

私が山形県では4人目の受賞ということで、たいへん光栄に思っております。私は自分が協会賞に縁があるとは思っておりませんでしたので、強く推していただいた高橋俊章会長をはじめ、たいへんお世話になった表彰委員会や事務局の皆様へ感謝申し上げます。また、今後も賞に恥じない活動をしなければならないと思っております。

2. 受賞の対象となった業績について教えてください。

協会賞は今回から、善行分野（人命救助等）、功劳分野（協会運営等）、成果分野（職域拡大等）に分けて授賞が行われることになりました。私は成果分野で受賞させていただきました。私は、1983年から、伊藤直栄先生に師事し、当時まだ本邦の理学療法士の取組みが極めて少なかったICUでの急性期呼吸理学療法に取り組み、この領域への理学療法士の参入促進に関わらせていただきました。また、1993年からは、電気刺激療法、特に、当時理学療法士の関与が少なかった機能的電気刺激や中枢神経疾患の治療的電気刺激に関する研究に取り組み、この領域の発展に関与させていただきました。これらを評価していただいたのではないかと思います。この間にご指導いただいた諸先生方へ感謝申し上げます。

3. 理学療法士を目指したきっかけをお聞かせください。

私は1973年に東京都清瀬市の国立東京病院附属リハビリテーション学院へ入学しました。当時の養成校数は10校、入学定員は全国でわずか185名でした。つまり、まだほとんど理学療法

士という職業は知られていませんでした。

高校2年生のことだったと思いますが、NHKのドキュメンタリー番組で北海道の肢体不自由施設のルポがありました。平行棒を床の方からの低いアングルで映した場面から番組が始まったのを覚えています。このドキュメンタリー番組で理学療法士が紹介され、その存在を知りました。その時、「自分がやるべき仕事はこれだ」と思ったのです。幸い、住まいから通学できる距離に清瀬リハがあり、また、学費がかからないということもあって、何とかこの道に進むことができました。

4. 理学療法士としての信念を教えてください。

理学療法士としての専門性を高め、それによって対象者により貢献できるように努力すること。

5. 現在の活動内容、取り組みを教えてください。

現在は大学の教員として、将来の理学療法を背負って立つ人材の育成に取り組んでいます。科学的思考ができ、かつ技術的にも高い水準にある理学療法士を育てたいと思っています。

研究活動としては、私のこれまでの経験から、呼吸理学療法と電気刺激療法の両方を活用したテーマで研究を進めたいと考えています。具体的には腹筋群への筋電誘発電気刺激で咳嗽力を高める研究に取り組んでいます。

6. 今後の夢をお聞かせください。

理学療法士の専門性と自律性を高めることに貢献することです。また、私にとって理学療法士は天職ですので、気力と体力が続く限り、理学療法士として活動したいと思っております。

7. 若い会員へのメッセージをお願いします。
若い会員の皆様は「理学療法の未来」です。
「未来の理学療法は自分が発展させる」という

志を持って日々の業務に精励していただきたい
と思います。期待しております。

平山 正義 先生 山形県知事表彰 受賞

おめでとうございます！



平山 正義 先生 富岡 秀則 先生 早坂 健次 先生 長谷川一夫 先生 山形県理学療法士会功労賞 受賞

おめでとうございます！

平山 正義 先生

1. 受賞された感想を教えてください。
功労賞有難うございました。まだ現役とっておりますのでな
んだかこそばゆい感じです。
後輩の手本になれるとは思いませんが、恥ずかしくない先輩で
いられるようにがんばりたいと思っています。
2. 理学療法士を目指したきっかけをお聞かせください。
父が脊損になり、理学療法士になれば治せるのではないかと思
いました（入学一週間で無理だと分かったのですが）。
3. 理学療法士としての信念を教えてください。
信念と言うほどのものではありませんが、患者さんを治すために、少しずつでも成長したいと
思っています。
4. 理学療法士を続けてきて大変だったこと、またそれをどのように乗り越えてきましたか。
あまり大変だったという思いはないのですが、医師に自分の思いがなかなか伝わらず、勉強す
るしかないと思っていました。



5. 現在の活動内容、取り組みを教えてください。

回復期病院で、患者さんの活動や社会参加の機会をいかに広げられるか、基本となる意欲的なセラピストが沢山育つように頑張っているつもりです。

6. 今後の夢をお聞かせください。

年を取ったらゆっくりと仕事を続けたいと思っています。(何才以降かは分かりませんが)。

7. 会員へのメッセージをお願いします。

自分が入会した頃はただ勉強したい人の集まりだったように思いますが、山形県理学療法士会は、一般社団法人であり、山形県民にいかに関与できるかが問われる時代になっています。自分たちさえ勉強できればいいという子供ではなく、世の中の情勢をしっかりと見据えてどう行動すべきかを考えられる大人にならなくてはなりません。全会員の協力が必要です、皆さんで盛り上げて頂きたいと思います。

富岡 秀則 先生

1. 受賞された感想を教えてください。

大変光栄に思います、会長始め、皆様に感謝申し上げます。

2. 理学療法士を目指したきっかけをお聞かせください。

先輩が、この職業に進んだのを見て、いい仕事だなと思いました。

3. 理学療法士としての信念を教えてください。

初志貫徹

4. 理学療法士を続けてきて大変だったこと、またそれをどのように乗り越えてきましたか。

就職した頃(昭和54年)、理学療法士の仕事が理解されなかったこと。一人一人の患者さんや家族との信頼関係を大事にしてきたこと。

5. 現在の活動内容、取り組みを教えてください。

士会では、地域包括ケア推進対策本部の活動。

6. 今後の夢をお聞かせください。

世界一周の旅行

7. 会員へのメッセージをお願いします。

おおきなことはいえませんが、日々の臨床を大切にしましょう。

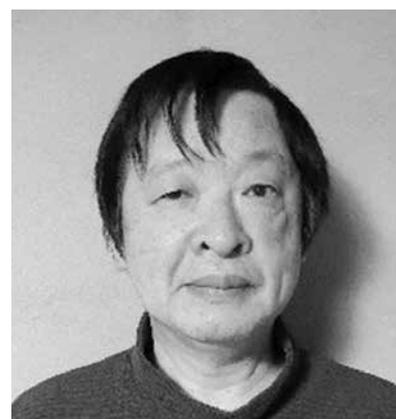


早坂 健次 先生



1. 受賞された感想を教えてください。
今回このような賞を受賞できたことを大変嬉しく思っております。山形県理学療法士会並びに会長の高橋俊章先生に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。
2. 理学療法士を目指したきっかけをお聞かせください。
私が理学療法士になった昭和54年当時、理学療法士を養成する学校は東北には有りませんでした。たまたま先輩に理学療法士を目指し東京の学校に進んだ方がおられ自分も……。おそらく先輩と違い、自分は東京に出て一人暮らしをしてみたいという思いが一番の動機だったように思います。
3. 理学療法士としての信念を教えてください。
動機は別として、私は自分の目の前に来られたどのような疾患、障がいのある方であっても治療できる理学療法士でありたいという思いでこの仕事を続けてきました。
4. 理学療法士を続けてきて大変だったこと、またそれをどのように乗り越えてきましたか。
大変だと感じたことはそれほど有りませんが、前の質問でもお答えしましたが、様々な患者さんを治療できるようになるにはそれなりの勉強が必要だったと思っています。
5. 現在の活動内容、取り組みを教えてください。
現在は、当会の役員を引退させていただき病院の業務に専念していますが、のんびりもしておられず、緩和ケア、地域包括ケア病棟のリハビリテーションなど今年度から同時に開設した病棟の運営について頭を悩ませながら仕事をしています。
6. 今後の夢をお聞かせください。
夢については特にありません。ただ、65歳まで働かないと生活費に困りそうでどうしようかなーという課題はあります。
7. 会員へのメッセージをお願いします。
偉そうなことは言えませんが、私が歩んで来た時代と間違いなく異なる時代に突入していると思います。世の中の流れに機敏に反応し時代に合った理学療法、リハビリテーションを提供できるように資質を磨いて行っていただければと思います。
今後ともよろしくお願いします。

長谷川一夫 先生



1. 受賞された感想を教えてください。
たいへんうれしいことだと思います。
2. 理学療法士を目指したきっかけをお聞かせください。
人を、心をもって助けることができる仕事だと思ったからです。
3. 理学療法士としての信念を教えてください。

患者様に対してあきらめないこと、限界を作らないこと。

4. 理学療法士を続けてきて大変だったこと、またそれをどのように乗り越えてきましたか。治療を拒否する患者様がいること、今では担当者をかえるのが一番と思っています。
5. 現在の活動内容、取り組みを教えてください。
今は病院の仕事と地域ケア会議に出席しています。支部の会員の結びつきがもっと強くなればともと思っています。
6. 今後の夢をお聞かせください。
自分の地域に戻って、フレイルな老人を正常にすることです。
7. 会員へのメッセージをお願いします。
一生続けて取り組めるものを見つけることが大切なことだと思います。

各部活動報告

●公益事業推進部活動報告●

山形県高等学校野球連盟より「第97回全国高等学校野球選手権山形大会」におけるトレーナー活動の依頼がありました。山形県野球場にて活動を行いましたので以下に報告させていただきます。

日時：平成27年7月19日(日)～23日(木)

会場：山形県野球場（中山町）

活動内容：県士会

参加者：

19日 村田 宙（山形大学医学部附属病院）

20日 伊藤 徳明（さとう整形外科クリニック）

22日 山本 洋介

沼澤 慎介（山形徳洲会病院）

23日 日詰 和也（新田クリニック）

今回は準々決勝から決勝までの6試合（決勝は25日へ順延のため）においてトレーナーとして当士会会員が参加いたしました。

具体的活動内容は、大会側が設置したブースに待機し、試合前後に選手側から希望があればコンディショニングを行うというものでした。

高温のなか開催されたため会場内で熱中症も数例発生し、クーリング等の対応を行いました。今回の活動においては、「理学療法士がどこまで対応すべきか」という点について、やや疑問に感じる部分もありました。これらについては、対応した内容についての振り返りを行うとともに、山形県高校野球連盟やアスレティックトレーナーの方々と協議を進め、対応力を高めていきたいと考えております。

今回このような貴重な機会を与えて下さった、山形県高校野球連盟、山形県理学療法士会に深く感謝致します。

文責山形徳洲会病院 富樫 弘人

●専門領域推進部 活動報告●

平成27年度山形県理学療法士会 第1回専門領域推進部研修会「心不全の理学療法心不全の

理学療法」にて運営活動を行いましたので、以下報告させていただきます。

名称：「心不全の理学療法」

日時：平成27年8月1日(土)

講師：高橋哲也先生（東京工科大学 教授）

会場：山形県立保健医療大学

活動内容：研修会の運営

スタッフ：本間 豪（日本海総合病院）

宮本 昌尚（北村山公立病院）

海老名陽介（公立置賜総合病院）

須賀 康平（山形済生会病院）

渡邊 弘基（湯田川温泉リハビリテーション病院）

活動内容は運営業務を中心に司会進行、受付場係講師接待しました。

受講者数は当日付も合わせ計70名（学生含む）で、幅広い経験年数の方に受講していただきました。

心機能低下を伴う高齢者の運動療法に際し、心機能低下をどう評価し、何に気付け、どう対

応するか、心不全の病態やフィジカルアセスメント、心臓リハビリテーションについて実技を織りいれながらの講義をしていただきました。症例検討では具体的な評価の仕方やポイントについてご指導いただき、活発な討論の場となりました。

充実した資料を準備していただき満足度は高かったのですが、受講生によっては日頃扱い慣れない情報も多かったためか消化不良気味との感想も聞かれました。今回の研修会では、多くの方に参加して頂き、県内理学療法士の心不全や循環器疾患に対する勉強意欲が高いことを把握することができました。専門領域推進部では、さらに学びやすい研修会になるような学習環境を提供し、運営を行っていきたいと思います。



平成27年8月7日
日本海総合病院 本間 豪

平成27年度

●庄内支部第2回勉強会報告●

テーマ：1 症例検討会

～セラピストに求められる連携とは～

日時：平成27年9月17日(木)

19：00～20：40

会場：日本海総合病院リハビリテーション室

平成27年度庄内支部第2回勉強会の『1 症例検討会～セラピストに求められる連携とは～』が9/17に日本海総合病院を会場に行われました。

1 症例検討会とは、昨年度から庄内支部で行っている勉強会で、1 例の症例について急性

期・回復期で担当した理学療法士がそれぞれの時期での経過や理学療法評価、問題点や実施したプログラムなどを報告し、急性期から回復期あるいは維持期までを通しての課題を見つけ検討会の中でグループディスカッションを行い、参加者も一緒に考えていくというものです。

今回は、急性期を日本海総合病院の吉田大希先生に、回復期を鶴岡協立リハビリテーション病院の新田俊介先生に担当していただき「連携」をテーマにグループディスカッションを行いました。

阿部幸司先生（庄内余目病院）に座長をして

いただき、急性期・回復期・維持期それぞれの立場から普段のサマリーなどで「こんな情報が欲しい」「実はここはどうなっているのか知りたかった」など活発な意見交換が行われ、明日

からのサマリー作成に活かせる勉強会となりました。

(文責:瀬尾章央)





平成27年度 庄内支部

●第3回勉強会(症例検討会)&懇親会報告●

日時：平成27年11月3日（火・祝）

14：00～16：00

会場：鶴岡市立荘内病院

11月3日（火・祝）に、鶴岡市立荘内病院にて症例検討会を開催しました。

湯田川温泉リハビリテーション病院の五月女美和子先生に座長をお願いし、庄内余目病院の長谷部裕美先生・奈良博志先生、鶴岡協立病院の佐藤悠先生、湯田川温泉リハビリテーション病院の土田圭先生から計4演題の発表がありました。今回は回復期、内部疾患、訪問と色々な症例の発表で、普段はあまり関わることのないケースも知ることができる大変興味深い内容

の症例検討会となりました。

症例検討会後には山形県理学療法士会理事の齋藤高興先生（鶴岡協立リハビリテーション病院）から認定・専門理学療法士についての説明もあり、認定・専門取得までの流れを確認することができました。

さらに勉強会終了後には、鶴岡市内で懇親会を行いました。「明日は仕事だから…」と口をつつも、セーブしきれず大いに盛り上がる人が目立つ懇親会でした。

お休みの中お集まりいただいた会員の皆様、大変お疲れ様でした。そして座長・発表者の先生ならびに準備にご尽力いただいた先生方に深く感謝申し上げます。（文責船戸正雄）



平成27年度 庄内支部
● 第2回生涯学習部研修会活動報告 ●

平成27年度第2回新人教育プログラム研修
を開催致しましたので以下に報告します。

日時：平成27年9月6日(日)
9：30～（受付9：00～）

会場：山形医療技術専門学校

TEL：023-645-1571

参加者：研修会82名

（新人プログラム未終了者を含む）

内容：選択テーマ（5単位）

<9月6日(日)>

9：40～10：40

「E-1 臨床実習指導方法論」(選択)

山形医療技術専門学校 杉原敏道 先生

10：50～11：50

「D-2 生涯学習と理学療法の専門領域」(選択)

山形大学医学部附属病院 石川雅樹 先生

13：10～14：10

「D-3 理学療法の研究方法(EBPT含む)」(選択)

山形医療技術専門学校 長沼 誠 先生

14：20～15：20

「B-3 統計方法論」(選択)

山形県立保健医療大学 赤塚清矢 先生

15：30～16：30

「C-1 神経系疾患の理学療法」(選択)

公立置賜総合病院 阿部宜行 先生

スタッフ：

齋藤 高興（鶴岡協立リハビリテーション病院）

秋野 千穂（鶴岡協立リハビリテーション病院）

大森 允（山形大学医学部附属病院）

中川 悠介（天童市民病院）

近野 友紀（山形ロイヤル病院）

富樫 綾香（山形ロイヤル病院）

講義風景



杉原敏道先生



石川雅樹先生



長沼 誠先生



赤塚清矢先生

真剣な受講生の
みなさん



阿部宣行先生



新入会員より

「第2回生涯学習部研修会を終えて」

IMS グループ 山形ロイヤル病院 渡辺 千晶

今回9月6日に開催された第2回生涯学習部研修会に参加し、理学療法士として必要な知識を学ぶことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

「生涯学習と理学療法の専門領域」のでは、新人教育プログラムを終えてからの専門領域の理学療法の方角性を再確認し、今後自分が進みたい道を明確にすることができました。専門分野を持つことにより理学療法士としての個別性を得られることができ、患者様に対してより密接に関わることができることがわかりました。「理学療法研究方法論」では、「PECO」での要約が、理学療法を展開していくにあたり重要になるとわかりました。普段の臨床現場でも、「Patients：どのような患者様に対して、Exposure：どのような治療介入、Comparison：何に比べて、Outcome：どのような結果が出る」ということを意識していく必要があります。また、真のエンドポイントを必ずADL動作へ結びつけることの重要性を実感し、今後臨床現場で再確認しながら取り組んでいこうと思いました。「神経系疾患の理学療法」では、特にCTの見方が勉強になり、臨床現場でポイントを絞りながら観察し、予後予測やリハビリ内容の検討を行うことが重要であると感じました。一つの部位だけを見て予測するのではなく、ループでのつながりも考え仮説を広げながら評価・治療介入を進めていきたいと思っています。

今後の臨床現場においては、「患者様全体をみること」を大切にし、よりよいリハビリが提供できるよう、今回の研修で学んだことを活かし取り組んでいきたいと思っています。

●医療保険部活動報告●

名 称：吸引技術研修会
日 時：平成27年10月4日(日) 13:00~16:30
会 場：山形県立保健医療大学基礎看護学実習室
講 師：山形県立保健医療大学看護学科沼澤さとみ先生、半田直子先生、高橋直美先生
受講者：26名
スタッフ：阿部 幸司（庄内余目病院）
 神林 望（庄内余目病院）
 大沼 健（日本海総合病院）
 舟山 卓（日本海総合病院）

活動内容は、運營業務を中心に受付、会場準備等を行いました。受講者26名、若手からベテランセラピストまで、幅広い方々の参加がありました。

講義では吸引行為に関する基本的な解剖学等の知識、フィジカルアセスメントモデル“フィジコ”という模擬患者を使った呼吸音の聴診、吸引用模擬患者を使用して実際の吸引の手順と手技を学びました。また、吸引を行うまで、吸引前後でのアセスメントとして症例を用

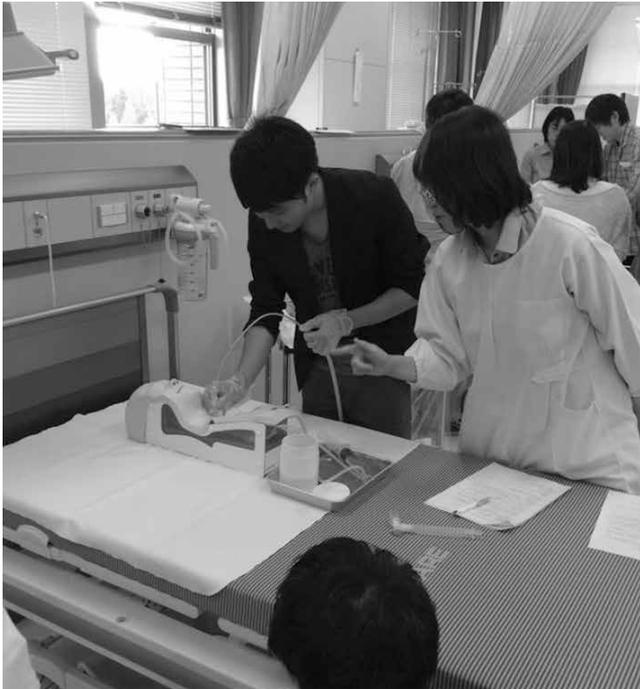
[講義風景]

いたグループワークを行いました。

受講生からは「吸引機器を初めて操作したので勉強になった」、「吸引の手順や方法を再確認することが出来た」等の感想がありました。しかし、実際の臨床場面では、まだまだ理学療法士による吸引行為が浸透しているとは言い難く、今後も継続した活動が必要であると感じました。

文責：舟山 卓






 医療機器・福祉用具販売レンタル
 TOTAL MEDICAL COMMUNICATION 株式会社 トーク
 日医器連通正事業所 第9406017号 〒997-0806
 福祉用具貸与事業所 0670700434 山形県鶴岡市遠賀原字稲荷41-2
 E-mail: took@coral.ocn.ne.jp TEL (0235) 22-1009 FAX (0235) 25-8139

安心と信頼
 ・前腕義手・股義足・下腿義足・骨格構造義肢・
(大型指節端を含む)
 ・腰・胸椎装具・靴型短下肢装具・歩行補助つえ・車イス・
(コルセット)
 山形県指定一級義肢装具士 安達 武雄
安達ブレイス製作所 山形市江保3丁目15-1
 ☎(023) 681-0456

医学書のことならお任せください
 日本医書出版協会認定医学書専門店
 医学書、看護学書、医書一般

 株式会社 **高陽堂書店**
 山形市大野目3-1-17 TEL 023(631)6001 FAX 023(632)1168
<http://www.koyodo.com/> email info@koyodo.com

山形県より、福祉用具販売・取付の推薦を
 いただき、官公需適格組合証明を取得
協同組合 生活住環境整備山形
 〒990-0805 山形市檀野前13-2
 TEL 023-681-5030 FAX 023-681-7609

● 専門領域推進部活動報告書 ●

平成27年度山形県理学療法士会第1回専門領域推進部研修会「心不全の理学療法」にて運営活動を行いましたので、以下に報告させていただきます。

平成27年 8月 7日

日本海総合病院本間豪

名称：「心不全の理学療法」

日時：平成27年 8月 1日(土)

講師：高橋哲也先生（東京工科大学教授）

会場：山形県立保健医療大学

活動内容：研修会の運営

スタッフ：本間 豪（日本海総合病院）

宮本 昌尚（北村山公立病院）

海老名陽介（公立置賜総合病院）

須賀 康平（山形済生会病院）

渡邊 弘基（湯田川温泉リハビリテーション病院）



活動内容は運営業務を中心に司会進行、受付、会場係、講師接待を行いました。

受講者数は当日受付も合わせ計70名(学生含む)で、幅広い経験年数の方に受講していただきました。

心機能低下を伴う高齢者の運動療法に際し、心機能低下をどう評価し、何に気を付け、どう対応するか、心不全の病態やフィジカルアセスメント、心臓リハビリテーションについて実技を織りいれながらの講義をしていただきました。症例検討では具体的な評価の仕方やポイントについてご指導いただき、活発な討論の場となりました。

充実した資料を準備していただき満足度は高かったのですが、受講生によっては日頃扱い慣れない情報も多かったためか消化不良気味との感想も聞かれました。今回の研修会では、多くの方に参加して頂き、県内理学療法士の心不全や循環器疾患に対する勉強意欲が高いことを把握することができました。専門領域推進部では、さらに学びやすい研修会になるような学習環境を提供し、運営を行っていきたいと思います。





フリッシャーズ紹介.....



内容

①勤務先 ②経験年数 ③出身地 ④ 出身校 ⑤趣味・特技 ⑥コメント



渡辺千晶

- ①山形ロイヤル病院
- ②1年目
- ③村山市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤映画鑑賞、スポーツ観戦
- ⑥初心と笑顔を忘れず、地域の方々に貢献できるよう頑張ります。



鎌田晴貴

- ①山形ロイヤル病院
- ②1年目
- ③山形市
- ④仙台医健専門学校
- ⑤ギター
- ⑥患者様の笑顔をつくれるような理学療法士になりたいです。



高橋玲奈

- ①山形ロイヤル病院
- ②1年目
- ③上山市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤旅行
- ⑥笑顔忘れず愛されるPTになります。



齋藤晃平

- ①山形ロイヤル病院
- ②1年目
- ③山形市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤ジム
- ⑥患者様のそばで最も考えられるPTになります。



伊藤諒太

- ①新庄徳洲会病院
- ②1年目
- ③新庄市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤テニス、生花
- ⑥患者様の気持ちに寄り添える理学療法士になります。



村田良

- ①ハイマート福原
- ②1年目
- ③山形市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤サッカー
- ⑥利用者様との信頼関係を大切に、日々自己研鑽に励んでいきます。



五十嵐ふみ

- ①勤務先：山形県立新庄病院
- ②経験年数：2年目
- ③出身地：最上町
- ④出身校：山形県立保健医療大学
- ⑤趣味・特技：サッカー、DVD鑑賞
- ⑥コメント：患者様に寄り添った理学療法を提供できるように、日々患者様と向き合っていきたいと思ます。



井上ひかり

- ①勤務先：山形県立新庄病院
- ②経験年数：1年目
- ③出身地：尾花沢市
- ④出身校：山形県立保健医療大学
- ⑤趣味・特技：食べ歩き
- ⑥コメント：患者様が笑顔になれるように、常に向上心を持って理学療法に励んでいきたいと思ます。



佐藤貴広

- ①勤務先：山形県立新庄病院
- ②経験年数：1年目
- ③出身地：舟形町
- ④出身校：山形県立保健医療大学
- ⑤趣味・特技：スポーツ観戦、旅行・陸上競技、剣道
- ⑥コメント：患者様へ最善の理学療法が提供できるように日々自己研鑽に努めていきたいと思ます。よろしく願ひ致します。



村上星耶

- ①鶴岡協立リハビリテーション病院
- ②1年目
- ③山形県酒田市
- ④新潟リハビリテーション大学
- ⑤野球、スポーツ観戦
- ⑥未熟者ですが先輩方の姿を見習い精一杯頑張っていきたいと思ます。

<m(_)_m>



- ①鶴岡協立リハビリテーション病院
- ②1年目
- ③山形県酒田市
- ④仙台医健専門学校
- ⑤野球
- ⑥精一杯頑張ります。よろしくお願
いします。

池田航大



- ①鶴岡協立リハビリテーション病院
- ②1年目
- ③山形県河北町
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤温泉めぐり、楽器を吹くこと
- ⑥主担当の患者様を何人か担当させて頂いて、仕事を進めていくにつれて理学療法士としての自覚が徐々に増えてきたように感じます。まだまだ勉強不足な面もあり、職場の先輩方に助けて頂いていますが、それを少しずつ減らしていき、徐々に濃い話が出るように励んでいきたいと思っています。患者様のことを第一に考え、過ごしやすい状態を提供できるように日々精進していきます。よろしくお願いたします。

奥山恵莉香



- ①鶴岡協立リハビリテーション病院
- ②1年目
- ③山形県鶴岡市
- ④仙台医療技術専門学校
- ⑤音楽鑑賞・どこでも寝られます。
- ⑥向上心を持ち成長し続けるPTになります。よろしくお願
いします。

小林彩乃



- ①鶴岡協立病院
- ②一年目
- ③鶴岡市
- ④東北福祉大学
- ⑤マラソン
- ⑥楽しい人生を送ってもらえるよう
頑張ります。

佐藤喬紀



- ①鶴岡協立病院
- ②1年目
- ③山形県鶴岡市
- ④晴陵リハビリテーション学院
- ⑤音楽鑑賞・音楽演奏
- ⑥地域の方々のために精一杯頑張ります。

本多敏樹



- ①酒田市立八幡病院
- ②1年目
- ③庄内町
- ④仙台保健福祉専門学校
- ⑤料理、食べ歩き
- ⑥地域福祉向上のために頑張ります

斎藤貴広



- ①鶴岡市立荘内病院
- ②1年目
- ③上山市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤スポーツ観戦
- ⑥患者様のために頑張ってます。

鏡雄介



- ①鶴岡市立荘内病院
- ②1年目
- ③鶴岡市
- ④秋田大学
- ⑤テレビ鑑賞
- ⑥日々学び成長できるよう頑張ります。

荒井萌美



- ①鶴岡市立荘内病院
- ②1年目
- ③鶴岡市
- ④仙台医療技術専門学校
- ⑤釣り
- ⑥仕事も勉強も全力で頑張ります。
今年の目標はクロダイ 60cm over

石塚祐熙



- ①山形県立総合療育訓練センター庄内支所
- ②1年目
- ③鶴岡市
- ④秋田大学
- ⑤ストレスをためない生活を送ること
- ⑥初心を忘れずに頑張ります。

福澤由貴恵



- ①日本海総合病院
- ②1年目
- ③鶴岡市
- ④帝京科学大学
- ⑤日本酒とワイン おいしいお酒を飲むこと
- ⑥日々勉強の毎日ですが、自分が出
来る最大限のアプローチが出来る
よう頑張ります。

大沼実里



- ①日本海総合病院 酒田医療センター
- ②1年目
- ③鶴岡市
- ④帝京平成大学
- ⑤サッカー、リフティング
- ⑥患者様一人ひとりをしっかりと評価し、一人ひとりにあった治療プログラムを行うことに注意して、理学療法を展開していきたいと思
います。

三浦伸介



石栗志織

- ①日本海総合病院 酒田医療センター
- ②1年目
- ③三川町
- ④新潟リハビリテーション大学
- ⑤フラフープ
- ⑥一人でも多くの患者様を笑顔にできる理学療法士を目指します！



太田弓佳

- ①日本海総合病院 酒田医療センター
- ②1年目
- ③鶴岡市藤島
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤旅行、朝ドラ
- ⑥前向きに患者さんと接して、常に探究心を持ちながら治療していこうと思います。



池田美佐穂

- ①日本海総合病院 酒田医療センター
- ②1年目
- ③酒田市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤ライブ、ラーメン食べ歩き
- ⑥患者様のニーズ、生活にあわせた理学療法を提供できるよう、自己研鑽を高めていきます！



遠藤 芳

- ①介護老人福祉施設さくらパレス
- ②1年目
- ③山形県
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤カラオケ
- ⑥新人らしく笑顔でがんばります。



設楽 円華

- ①介護老人保健施設さくらパレス
- ②1年目
- ③山形県
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤映画鑑賞
- ⑥未熟な点ばかりですが、笑顔を忘れずがんばります！



鹿間 啓太

- ①舟山病院
- ②1年目
- ③山形県米沢市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤楽器演奏・買い物
- ⑥皆様が、やってよかったと思えるような、笑顔作り出せるPTになりたいです。



石原 鉄也

- ①三友堂病院
- ②1年目
- ③飯豊町
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤サッカー
- ⑥向上心を持って日々努力していきます。



佐藤 菜都衣

- ①三友堂病院
- ②1年目
- ③高島町
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤旅行
- ⑥まずは自分ができることを精一杯取り組んでいきたいと思っています。



小関 宏輝

- ①三友堂病院
- ②1年目
- ③寒河江市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤テニス・ランニング
- ⑥常に向上心を持ち、自分にできることを日々頑張ります。

福祉機器・介護用品販売レンタル/車いすオーダー制作

a (有)アシスト

〒991-0048 山形県寒河江市みずき一丁目6-4
TEL(0237)83-5525/FAX(0237)85-5454

E-mail:assist@corp.email.ne.jp

山形小木医科器械株式会社

山形市北町三丁目8番20号
電話(023)681-3633(代)

質の高い福祉用具レンタルで介護保険を応援します
あなたの笑顔が見たいから

●リネンサプライズ・ホスピタルリネン事業部 ●ホームヘルスケア事業部 ●リースキン事業部

株式会社 蔵王サプライズ

ホームヘルスケア事業部 山形市銅町二丁目21番4号 TEL(023)674-9600
支店・営業所 仙台支店/新庄営業所/庄内営業所

施設紹介

障がい者支援施設 月光園



当施設は、庄内地区唯一の身体障害者施設です。入所75名・短期入所5名に対して、理学療法士1名、機能訓練指導員1名の2名のリハビリスタッフで、生活リハビリからレクリエーションまで、毎日を生き活きと過ごしてもらえよう幅広く支援をさせて頂いております。

更に、今年は開園30周年を迎えました。秋の文化祭で

は、山形が生んだ歌姫・朝倉さやを招いた歌謡コンサートが行われ、家族だけでなく地域の方からも多く参加頂き、盛大に開催することができました。当日のうどん・蕎麦・ケーキ・珈琲などは無料。来年の夏祭りや再来年の文化祭には、是非お友達をお誘いのうえ、当施設へお越し下さいませ。

今後も、地域の社会福祉施設として、利用者の皆様の生活に密着した支援を提供できるようスタッフ一同頑張っていきます。



介護老人保健施設 ナーシングホームさくらんぼ

当施設は農業や工業が盛んな東根市に位置する、市内唯一の介護老人保健施設です。平成14年に開設し、現在は入所定員100名（内、一般病棟50名、認知症専門棟50名）、通所定員30人、リハビリテーションスタッフは理学療法士4名、作業療法士3名で構成されています。

「大切な人に笑顔とやすらぎを～その人らしい生き生きとした暮らしを支えます～」を当施設の基本理念として掲げ、「敬愛、共感、感謝、傾聴、信頼」の5つ



を柱とし、日々利用者様やご家族とふれあっています。最近では、入所においては在宅復帰支援や看取りケア、通所では自立支援に力を入れており、利用者様やご家族により一層の「笑顔とやすらぎ」が生まれますよう、他職種と連携し、質の高いサービスの提供を目指しています。これからも利用者様やご家族の声に耳を傾け寄り添い、地域に愛される施設になれるよう、スタッフ一丸となって頑張っていきます。

■ 会員動向 (平成 27 年 11 月 25 日現在)

【新入会員】

阿部真弓	介護老人保健施設あこがれ
児玉由香	介護老人保健施設フローラさいせい
齋藤晃平	山形ロイヤル病院
鎌田晴貴	山形ロイヤル病院
中津川健	篠田総合病院
森諭平	篠田総合病院
大須賀唯香	庄内余目病院
菅原新斗	庄内余目病院

【他士会へ転出】

高橋紗希	長野県士会へ
啓利亜沙美	広島県士会へ
川瀬郁絵	宮城県士会へ
藤川昌利	秋田県士会へ
深谷政滋	栃木県士会へ
瀧澤栄太郎	新潟県士会へ

【勤務先変更】

大竹浩介	さとう整形外科クリニック
梅本岳史	介護予防特化型通所介護あゆみ
高野貴志	介護老人保健施設みゆきの丘
丹野則子	山形県福祉相談センター
佐藤貴広	山形県立新庄病院
遠藤卓也	山形徳洲会病院
荒井萌美	鶴岡市立荘内病院
佐藤沙弥香	特別養護老人ホーム寿泉荘
来生正人	日本海総合病院酒田医療センター
本間美佳	訪問看護ステーションハローナース
佐藤陽香	訪問看護リハビリテーション ナーシングなごみ
大原留美子	自宅
結城龍二	自宅
会田香織	自宅
本間美佳	自宅

【改 姓】

長浜華樹子	旧姓 安藤
梅津真穂	齋藤
本多賢二	高澤
三浦由貴	齋藤
会田香織	島津
本間美佳	成田

会員数 804 名 施設数 146 施設
賛助会員 16 社

●楽天カードでの会費の納入をお願いします

日本理学療法士協会では、会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」(年会費無料)を指定しております。会費の納入漏れがなくなり、手数料も無料です。

●楽天カードの主な特徴と機能

会費(初年度除く)の自動引き落としが可能です。
書籍購入(一部割引)等が可能になります。

●申し込み方法

日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」より申込みください。

楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続き後にお手持ちのカードが、会費決済用カードとして利用可能となります。日本理学療法士協会ホームページの「会員の方へ」→「年会費」にて、お手続きをお願い致します。

●会費割引制度導入について

2015年度年会費より、「育児休業割引」と「シニア割引」が導入となりました。対象の方は、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」→「会員管理」→「会費割引申請」にて、お手続きをお願い致します。

●会員登録情報について

山形県理学療法士会では会員管理のために、日本理学療法士協会の会員情報を共有しております。会員情報に変更がありましたら早急に日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」より会員情報の変更をお願い致します。

◆山形県厚生省労働省指定◆
 **(有) 渡部 義肢**
 ◆営業品目◆
 義足・義手、コルセット、車椅子、ステッキ、下肢装具、上肢装具、骨格義足(モジュラー)
 〒997-0861 山形県鶴岡市桜新町8番地52号
 TEL(0235)25-9366 FAX(0235)25-9364

 義肢・装具・車いす
 他整形医療器具製造・販売
(有)エムサポート
 〒990-2212 山形市上柳110
 TEL(023)687-2800 FAX(023)687-2812
 取引銀行 山形銀行宮町支店(普通)0241881

福祉用具開発・レンタル販売 <http://www.tamatsu.jp>

株式会社 タマツ
 本社 山形県鶴岡市美咲町32-7(〒997-0857)
 TEL 0235-23-6333/FAX 0235-25-3889

思いやりリハビリ・まごころケア
(有) 福祉用品やまがた
 介護用品ショールーム
 〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎4-2-40
 電話(0234)26-1725
 F A X (0234) 26-6780

オーダーメイドの福祉用具
 **株式会社 ライフケアサポート**
 山形県東根市温泉町1-13-10
 TEL0237(43)6833 FAX0237(43)6832

医療の未来を見つめる総合商社
 **岡崎医療株式会社**
 ■本社 山形市あこや町三丁目4番3号
 ■山形営業所 〒990-0025 ☎023(代)623-0546番
 ■鶴岡営業所 鶴岡市大字安丹字村上4番10号
 〒997-0057 ☎0235(代)22-0106番

明日への地域医療・高度医療に貢献する
 一信頼される技術とサービスを人へ社会へ地域へ
 ライフテクノロジーを追求する

株式会社 シバタ インテック
 本社 〒984-0015 仙台市若林区卸町二丁目11-3
 TEL 022(236)2311(代表) FAX 022(236)2362
 ・山形支店・庄内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ヘルスケアセンター・物流センター・メンテナンスセンター
 ホームページ：www.shibaintech.co.jp

 厚生労働省
 山形県指定
 福祉法義肢製作所指定
有限会社 山形義肢研究所
 義手・義足・コルセット・補装具 代表取締役 植松茂夫
 補助ステッキ・松葉杖・車いす 山形市飯田五丁目5番39号
 整形医療器具 電話(023)632-5214

編集後記

H27年度2冊目のかわら版になります。今回は平成27年度に各表彰を受賞されました先生方へのインタビューを掲載しています。受賞された先生方、誠におめでとうございます。ほかにも、各地区で行われた研修会報告も多数掲載し、内容盛りだくさんでお送りします。ぜひご覧ください。

なお、広報部では随時掲載原稿をお待ちしております。何か掲載してほしいものがございましたらお気軽にご連絡ください。HPへの掲載も受け付けております。よろしくお願いたします。

三友堂リハビリテーションセンター
 島貴

福祉用具の製作・販売・レンタル
風の郷工房(有)
 座位保持装置・車椅子
 電動車椅子・歩行器など
 東置賜郡高島町一本柳 2535-1
 TEL 0238-52-1446 FAX 0238-52-1411
 URL：<http://www.kazenosato.co.jp/>

■発行/一般社団法人 山形県理学療法士会
 ■発行者/高橋 俊章
 ■編集者/高橋 忠清
 ■広報部/三友堂リハビリテーションセンター
 〒992-0057 山形県米沢市成島町3丁目2番90号
 TEL(0238)21-8100 FAX(0238)21-8119
 E-mail：ptkouhoubu@yahoo.co.jp